

The World of Bird Carving



ハシビロコウ

編集／発行 半田市立博物館
 〒475-0928 愛知県半田市桐ヶ丘4丁目209番地の1
 TEL : 0569-23-7173 E-mail : hkbutsu@city.handa.lg.jp
 発行日 令和8年(2026年)6月
 印刷 半田中央印刷株式会社

木彫りの鳥に会いに行こう♪

企画展

バードカービングの世界

木彫りの野鳥大図鑑

半田市立博物館へようこそ！

半田は、木彫りのまち

令和8年 6/20(土) ▶ 8/30(日)

開館時間 10:00~18:00

会場 半田市立博物館
 〒475-0928 愛知県半田市桐ヶ丘4丁目209番地の1
 TEL (0569) 23-7173

休館日 6/22日・29日・7/6日・13日・21日・27日・8/3日・10日・17日・24日

半田市立博物館 公式HP
 半田市立博物館 公式Instagram

1. ごあいさつ

バードカービングとは、木片から鳥を彫り出して彩色した工芸品であり、作品の芸術性のもとより、鳥類の分類や生態を知るうえでの資料としても役立っています。

半田市在住のバードカービング作家である稲田源次氏は、平成20年頃から作品の制作を始め、独学で制作技術を習得。これまでに数多くの作品を制作してきました。半田市立博物館の常設展示室Ⅰ「知多半島の自然」コーナーにある湿地のジオラマには、稲田氏から寄贈された作品がいくつか展示されています。

本展では、これまで稲田氏が制作した国内外の様々な鳥類を中心に、約200点の作品を展示しています。羽毛の重なりまで精緻に再現された作品の造形美を楽しみながら、鳥類の分類や生態、バードカービングに対する稲田氏の情熱を感じられる展示です。



稲田源次さん
(バードカービング作家)

2. バードカービングって何？

バードカービングとは、Bird（バード：鳥）＋Carving（カービング：彫刻）、すなわち、野鳥の姿を本物そっくりの木彫りで表現する芸術です。

もともとは、水鳥の狩猟の際に、鳥をおびき寄せるためのおとりとして作られた「デコイ」が起源とされています。19世紀のアメリカでは、食肉用の狩猟が盛んになり、耐久性のある木製のデコイが大量に作られるようになりました。この頃から、単なる道具としての機能だけでなく、職人たちのこだわりによる造形美や独自の彩色スタイルが生まれ、北米独自の民俗芸術としての側面を持ち始めました。

20世紀後半になると、バードカービングの用途やモチーフとなる鳥の種類も多様化し、羽の一枚一枚まで緻密に表現する芸術へと発展していきました。

近年では、鳥の形態が正確に再現された劣化しにくい資料として、はく製の代わりに博物館などでバードカービング作品が展示される機会も増えています。



コガモ



半田市立博物館 常設展示室Ⅰ
「知多半島の自然」のジオラマ

3. バードカービング鑑賞のポイント

①「生きている一瞬」を切り取ったポーズ

バードカービングは、単なる模型ではありません。鳥たちが今まさに飛び立とうとする瞬間など、「生きている一瞬」が表現されています。目の前に、生きている鳥がいるかのような、生き物の生命力を感じてみてください。

② 羽の質感

鳥の羽は彫刻刀で彫るだけでなく、バーニングペンやグラインダーで、一本一本、繊細な溝を刻んで表現されています。硬い木でできていることを忘れてしまうほど、ふんわりとした柔らかな羽の表現や、立体的な羽の重なり方にも注目です。

③ 環境の演出

鳥の体だけでなく、鳥が止まっている枝や季節の花、足元の水面などもすべて木でできています。その鳥が生きている空気感を表現するため、細部まで作り込まれた環境にも注目すると、より深くバードカービングの世界を楽しめます。



コマドリ

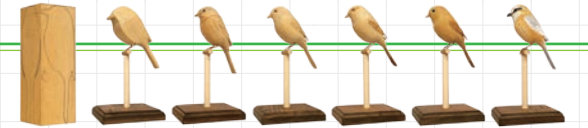


キジバト



ツグミ

稲田さんに聞いてみよう！



Q. 木は、どんな素材を使っていますか？

素材となる木材は、主にジェルトン（東南アジアに分布する広葉樹）やホオノキ（国産の落葉高木）を使っています。特に、ジェルトンは柔らかく粘り気があり、バードカービング制作に適しています。

Q. バードカービング制作には、どんな道具が必要ですか？

帯のこ盤や突きのみ、彫刻刀、グラインダー、バーニングペンなど様々な道具があり、用途に応じて使い分けています。自分に合った使いやすい道具がない場合は、自作することも多いですね。



制作には色々な道具を使います。

Q. 制作する鳥の資料が一部しかない場合、見えない部分はどうやって作るのですか？

図書館で鳥の図鑑を調べたり、インターネットなどを使って鳥の写真をできるだけ探しますが、全方向からの資料を集めるのは難しいですね。そんな時は、ほかの鳥なども参考にしつつ、頭の中で形や羽の重なりをイメージしながら制作します。生きている鳥は動き回ったり飛んで行ったりしてじっくり観察できないので、鳥の「はく製」を見ながら制作できるのが、いちばんいいですね（笑）

Q. 目はどうやって作るのですか？

目は、グラスアイという市販のガラス製の目玉を使っています。目の色は鳥によって様々ですので、制作する鳥に合わせて目玉の裏側から虹彩部分を着色したりします。取り付けは、目を入れる部分にドリルで穴を空けて、くぼみにパテを入れて目玉をはめ込みます。



←グラスアイ

ドリルで目の部分に穴をあけます。

Q. なぜ、バードカービングの制作をはじめたのですか？

20代の頃からモノづくりに強い関心があり、電機業界で技術者として勤務するかたわら、銅板細工（レリーフ）等の制作を行っていました。2007年、定年退職を機に自宅で制作できるモノづくりとして、バードカービングを独学で学び始めたのがきっかけです。

Q. 作品制作で、いちばん大変なことは何ですか？

いちばん大変なのは、羽の模様などを作り込む細かい作業ですね。やはり年を取ると、集中力が必要な細かい作業がいちばん大変です…。ただ、大変な作業ではありますが、少しずつ完成が近づいているのが分かりますので、いちばん楽しい工程でもあります。



顔は特に念入りに作り込みます。

Q. 作品制作で、いちばんこだわっていることは何ですか？

私がバードカービング制作で心掛けているのは、その鳥の特徴を正確に表現することです。一か所でも手を抜いてしまうと作品全体がダメになってしまいますので、最後まで気が抜けません。試行錯誤の末に、鳥たちの生き生きとした姿を表現できたときは、まさに制作者冥利に尽きます。

4. バードカービングの制作工程

① 資料集め

まずは、鳥の図鑑やインターネットなどを使って、制作する鳥の資料をできるだけ集めます。様々な方向から見た写真があるといいですね。実物大になるように、拡大コピーしておくと便利です。



② マーキング

角材の各側面にしるしをつけます。鳥を描いた型紙や、図鑑をコピーして切り抜いた写真などを角材に当て、鉛筆で輪郭をとったり、カーボン紙を敷いて線を写し取ったりします。



③ カットアウト

マーキングした線に沿って、帯のご盤でだまかに形を切り出していきます。上下左右の2方向からカットするため、片面をカットしたら一度テープで仮止めし、次にもう片方の面をカットします。



④ 粗削り

突きのみでだまかに削ったあと、彫刻刀を使って少しずつ体の形を出していきます。木目にもよりますが、くちばしなどの細く欠けやすい部分は、瞬間接着剤で固めておくと安心です。



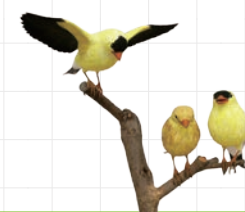
⑤ サンディング

グラインダーや紙やすりを使って体全体にやすりがけを行い、頭や胸、腹の丸みを出していきます。腹の部分や羽の内側など、場所によってグラインダーの先端の形状を使い分けます。



⑥ バーニング

資料を参考に、鉛筆でだまかな羽の模様を描きます。その線に沿って、バーニングペンで羽の細かい線を焼き付けていきます。だいたい、1mmの幅に3本の線を焼き付けていく感じです。



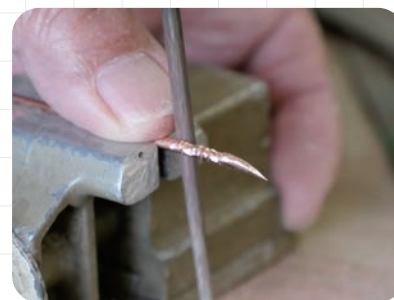
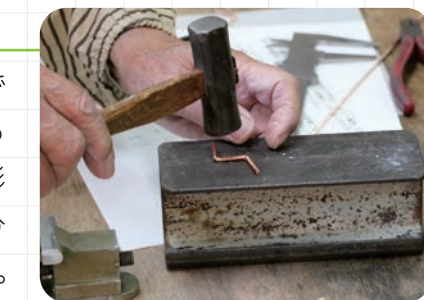
⑦ テクスチャー

グラインダーやバーニングペンを使って体全体の毛並みを作り込み、立体感を出していきます。目は、ガラスアイというガラス製の目玉を使います。虹彩が透明なものは、内側から色を塗ります。



⑧ 足の制作

足は、銅線を使って作ります。金槌で銅線を叩いて硬くした後、曲げたり削ったり、はんだ付けをしたりして、足の形を作っていきます。ツメのとがった部分は、銅線を金属やすりで削って作ります。



⑨ 彩色

絵の具の定着や発色を良くするため、まず最初に薄めたラッカーニスを全体に塗り、その上からジェッソ（白色の下塗り剤）を塗ります。そして最後に、アクリル絵の具で彩色していきます。



⑩ 完成！

制作する鳥の種類や大きさによって変わりますが、上記のモズの制作では、マーキングから彩色まで、だいたい一週間程度かかります。試行錯誤を重ねながら、今にも動き出しそうな鳥の姿を作り出すのは、とても楽しい時間です。

自分の手で、木彫りの鳥に少しずつ生命を吹き込んでいく…そんなワクワクする時間を、みなさんも、ぜひ体験してみてください。



5. 稲田源次 作品集

稲田氏がこれまで制作した 200 点以上の作品の中から、国内外の鳥類をはじめ、厳選した作品をご紹介します。

日本の鳥

カモ目、キジ目、ハト目、ツル目、チドリ目

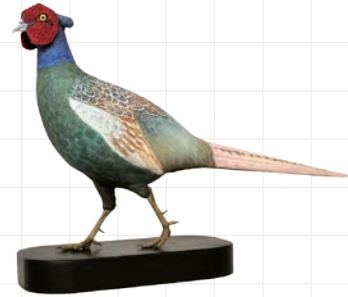
主な参考文献

『山溪ハンディ図鑑 新 日本の野鳥』2024 年（山と溪谷社）
『小学館の図鑑 NEO 〔新版〕 鳥』2015 年（小学館）



オシドリ 【鴛鴦】
Aix galericulata

分 類：カモ目カモ科
生息地：湖沼、河川、池
全 長：45cm



キジ 【雉】
Phasianus versicolor

分 類：キジ目キジ科
生息地：草原、農耕地、林
全 長：オス 80cm、メス 60cm



キジバト 【雉鳩】
Streptopelia orientalis

分 類：ハト目ハト科
生息地：市街地、農耕地、森林、山地
全 長：33cm



クイナ 【秧鶏・水鶏】
Rallus indicus

分 類：ツル目クイナ科
生息地：湿地、水田、水辺の草地
全 長：29cm



タンチョウ 【丹頂】
Grus japonensis

分 類：ツル目ツル科
生息地：湿原、草地、農耕地
全 長：140cm



セイトカシギ 【丈高鷗】
Himantopus himantopus

分 類：チドリ目セイトカシギ科
生息地：干潟、水田、湖沼
全 長：37cm



タゲリ 【田鳧】
Vanellus vanellus

分 類：チドリ目チドリ科
生息地：水田、畑、河川、湿地、干潟
全 長：32cm



ソリハシシギ 【反嘴鳴】
Xenus cinereus

分 類：チドリ目シギ科
生息地：干潟、河口、海岸、水田
全 長：23cm



コアジサシ 【小鰯刺】
Sternula albifrons

分 類：チドリ目カモメ科
生息地：海岸、干潟、河川
全 長：24cm

日本の鳥

ペリカン目、タカ目、フクロウ目、ブッポウソウ目、キツツキ目 など



トキ 【朱鷺・鴛】
Nipponia nippon

分 類：ペリカン目トキ科
生息地：水田、湿地、河川、湖沼
全 長：77cm



ゴイサギ 【五位鷺】
Nycticorax nycticorax

分 類：ペリカン目サギ科
生息地：湖沼、水田、河川、海岸
全 長：57cm



イヌワシ 【狗鷲・犬鷲】
Aquila chrysaetos

分 類：タカ目タカ科
生息地：山地帯、森林
全 長：オス 81cm、メス 89cm



オオタカ 【蒼鷹・大鷹】
Accipiter gentilis

分 類：タカ目タカ科
生息地：平地の低山の林、農耕地
全 長：オス 50cm、メス 57cm



コノハズク 【木葉木菟】
Otus sunia

分 類：フクロウ目フクロウ科
生息地：平地から山地の林
全 長：20cm



ヤツガシラ 【戴勝】
Upupa epops

分 類：サイチョウ目ヤツガシラ科
生息地：草地、農耕地、河川敷
全 長：30cm



カワセミ 【翡翠】
Alcedo atthis

分 類：ブッポウソウ目カワセミ科
生息地：河川、池、湖沼
全 長：17cm



ヤマセミ 【山翡翠】
Megascops lugubris

分 類：ブッポウソウ目カワセミ科
生息地：河川、池、湖沼
全 長：38cm



アカゲラ 【赤啄木鳥】
Dendrocopos major

分 類：キツツキ目キツツキ科
生息地：平地から山地の林
全 長：24cm

日本の鳥

ハヤブサ目、スズメ目（モズ科・カラス科・シジュウカラ科 など）



ハヤブサ 【隼】
Falco peregrinus

分 類：ハヤブサ目ハヤブサ科
生息地：河川敷、海岸、農耕地、市街地
全 長：オス 42cm、メス 49cm



モズ 【百舌・鵲】
Lanius bucephalus

分 類：スズメ目モズ科
生息地：林、草原、農耕地、市街地
全 長：20cm



オナガ 【尾長】
Cyanopica cyanus

分 類：スズメ目カラス科
生息地：市街地、山地の林、農耕地
全 長：37cm



カササギ 【鵲】
Pica serica

分 類：スズメ目カラス科
生息地：農耕地、市街地
全 長：45cm



ヤマガラ 【山雀】
Sittiparus varius

分 類：スズメ目シジュウカラ科
生息地：平地から低山の林
全 長：14cm



ヒヨドリ 【鶉】
Hypsipetes amaurotis

分 類：スズメ目ヒヨドリ科
生息地：市街地、農耕地、森林
全 長：28cm



ツバメ 【燕】
Hirundo rustica

分 類：スズメ目ツバメ科
生息地：市街地、農耕地
全 長：17cm



ウグイス 【鶯】
Horornis diphone

分 類：スズメ目ウグイス科
生息地：林、住宅地、公園
全 長：14~16cm



シマエナガ 【鳥柄長】
Aegithalos caudatus japonicus

分 類：スズメ目エナガ科
生息地：平地から低山の林
全 長：14cm

日本の鳥

スズメ目（メジロ科・ミソサザイ科・スズメ科・アトリ科 など）



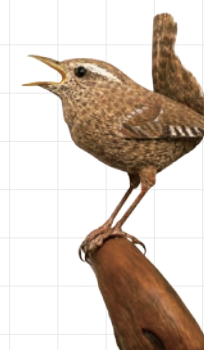
セッカ 【雪加】
Cisticola juncidis

分 類：スズメ目セッカ科
生息地：草原、川原、農耕地
全 長：13cm



メジロ 【目白】
Zosterops japonicus

分 類：スズメ目メジロ科
生息地：市街地、公園、山地の林
全 長：12cm



ミソサザイ 【鶉鶉】
Troglodytes troglodytes

分 類：スズメ目ミソサザイ科
生息地：平地から山地の林
全 長：11cm



ゴジュウカラ 【五十雀】
Sitta europaea

分 類：スズメ目ゴジュウカラ科
生息地：平地から山地の林（落葉広葉樹林）
全 長：14cm



ツグミ 【鶇】
Turdus eunomus

分 類：スズメ目ツグミ科
生息地：平地から山地の林、農耕地
全 長：24cm



コマドリ 【駒鳥】
Larivora akahige

分 類：スズメ目ヒタキ科
生息地：山地のササが生い茂る林
全 長：14cm



スズメ 【雀】
Passer montanus

分 類：スズメ目スズメ科
生息地：市街地、農耕地、住宅地
全 長：14cm



オオマシコ 【大猿子】
Carpodacus roseus

分 類：スズメ目アトリ科
生息地：平地から山地の林
全 長：17cm



マヒワ 【真鶇】
Spinus spinus

分 類：スズメ目アトリ科
生息地：森林、草地、河川敷
全 長：12cm

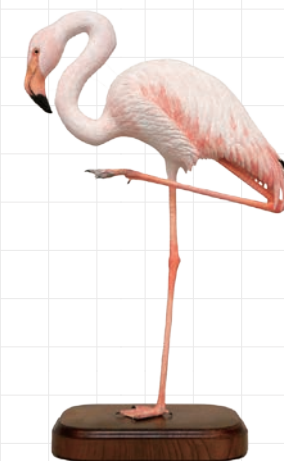
世界の鳥

南極大陸、中央アフリカ、北アメリカ、南アメリカ など



コウテイペンギン 【皇帝企鵝】
Aptenodytes forsteri

分 類：ペンギン目ペンギン科
分 布：南極大陸
全 長：120cm



オオフラミンゴ 【大紅鶴】
Phoenicopterus roseus

分 類：フラミンゴ目フラミンゴ科
分 布：南ヨーロッパ、アフリカほか
全 長：140cm



ホオミドリウロコインコ
Pyrrhura molinae 【頬緑鸚鵡哥】

分 類：オウム目インコ科
分 布：南アメリカ
全 長：25cm



カナリア 【金糸雀】
Serinus canaria

分 類：スズメ目アトリ科
分 布：カナリア諸島ほか（野生種）
全 長：15cm



シチメンチョウ 【七面鳥】
Meleagris gallopavo

分 類：キジ目キジ科
分 布：北アメリカ
全 長：オス 122cm、メス 60cm



オニオオハシ 【鬼大嘴】
Ramphastos toco

分 類：キツツキ目オオハシ科
分 布：南アメリカ
全 長：60cm



ハシビロコウ 【嘴広鶴】
Balaeniceps rex

分 類：ペリカン目ハシビロコウ科
分 布：中央アフリカ
全 長：152cm



ヒロハシサギ 【広嘴鷺】
Cochlearius cochlearius

分 類：ペリカン目サギ科
分 布：中南米
全 長：50cm



キーウィ 【奇異鳥】
Apteryx australis

分 類：キーウィ目キーウィ科
分 布：ニュージーランド
全 長：50cm

その他

能面、狂言面、植物、動物、昆虫 など



こおもて
小面（能面）



わかおんな
若女（能面）



ホオズキ



イセエビ



えびす
恵比寿（狂言面）



うそぶき
空吹（狂言面）



タケノコ



パグ



ビワ



鳥かご



トノサマバッタ



アマガエル



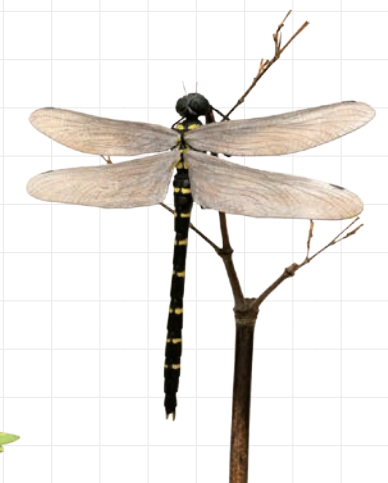
カブトムシ・オオクワガタ・ノコギリクワガタ



オオカマギリ



ショウリョウバッタ



オニヤンマ